

令和4年度神奈川県民大会
兼 第77回 国民体育大会 柔道競技

少年男子の部 県予選会



日時 6月25日(土) 午前10時10分～(計量9時～)

少年男子の部(先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の部)

会場 シンコースポーツ神奈川県立武道館

主催 神奈川県柔道連盟

主管 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

大会役員

会長 塩浦 健吾
副会長 時乗 洋昭 佐々木 健一
顧問 小林 富雄 込山 英雄 高見澤 隆 二挺木 幸雄
大塚 喜英 盛本 輝夫 朝野 哲夫 鈴木 久男
万福 晶博 波多野 和敬 児島 義明 栃本 章
吉川 勝啓 林田 和孝 金子 伸一 菅原 信明

参与 金子 好幸 近藤 茂人 梅沢 一之 岡野 正之

大会委員長 井上 信二
大会副委員長 鈴木 寛人 國吉 真登茂 多田 功 獅子倉 聡
競技委員長 鏑木 文隆
競技副委員長 平山 与八 川上 智一 古屋 善之
競技委員 北原祥二郎 中野 一 栃本 章太 聖生 晃史 福寿 亮
多田 昌人 諏訪 勝則 金田 隆志 峯岸 義則 仲島 達也
志村 優太 伊丹 裕子 濱名 淳 武田 淳子 笠原 一重
込山 清 中島 慎二 水落 健太 八巻 祐

審判委員長 平山 与八
審判員 伊丹 裕子 請園 藍里 岡村 照大 鹿嶋 優理 北原祥二郎
込山 清 小向 桃江 佐俣 優依 志村 優太 聖生 晃史
関水 大八 瀬戸口雄輝 高橋 雄太 高橋 良治 滝澤 萌
武田 淳子 田端 創円 栃本 章太 富澤 幹樹 中島 慎二
仲島 達也 永富 新悟 二階堂陽一 濱名 淳 平沼 義浩
福壽 亮 古屋 善之 水落 健太 峯岸 義則 矢野 雄大
八巻 祐 山崎 博樹 山下 秋生

救護 大友 隆雄

補助役員 東海大学付属相模高等学校 柔道部生徒
立花学園高等学校 柔道部生徒
光明学園相模原高等学校 柔道部生徒
日本大学藤沢高等学校 柔道部生徒

令和4年度 第77回 国民体育大会 柔道競技 少年男子の部 神奈川県 予選会 要項

1. 主催：神奈川県柔道連盟

2. 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部

3. 日時：令和4年6月25日（土） 午前10時10分開会

4. 場所：神奈川県立武道館

5. 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。

(3) 令和4年度（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。

(4) 平成15年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。

(5) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住などの理由よりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。

(6) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

(7) 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身につけたうえで参加させること。

(8) 参加資格の特例

①上記(1)(2)に定める生徒以外で当該競技実施（大会）要項により大会参加資格を満たすと判断され、

神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

②上記(4)のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

(9) 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること。（短期留学は認めない）

(10) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。

(11) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

①大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医（脳神経外科）の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(12) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

6. 競技種目

(1) 少年男子の部

①下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は、最大6名までとする。

ア. 先鋒の部（60kg以下）

イ. 次鋒の部（60kgを超えて73kg以下）

ウ. 中堅の部（73kgを超えて90kg以下）

エ. 副将の部（90kgを超えて100kg以下）

オ. 大将の部（無差別）

②登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。

7. 試合規定

(1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。

(2) 試合時間は4分とする。ただし、ベスト16決定までの試合は3分とする。

(3) 優勢勝ちの判定基準 「技あり」「僅差」(指導の差2)以上とする。判定基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、判定の基準は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

8. 表彰は各階級第5位まで賞状を贈る。

9. 申込方法

(1) 様式は所定の申し込みフォーム(エクセル)による。

(2) 期限は5月30日(月)から6月6日(月)までとする。なお、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。

(3) 参加料は1名 ¥800(¥700+保険料¥100)とする。 ※ P9 III 2. 参加料を参照すること。

10. その他

(1) 男子については国体予選の試合結果と令和4年度全国総体県予選の試合結果を選考対象とし、6月25日(土)

の常任委員会において推薦選手を決定する。ただし、最終選考については神奈川県柔道連盟が行う。

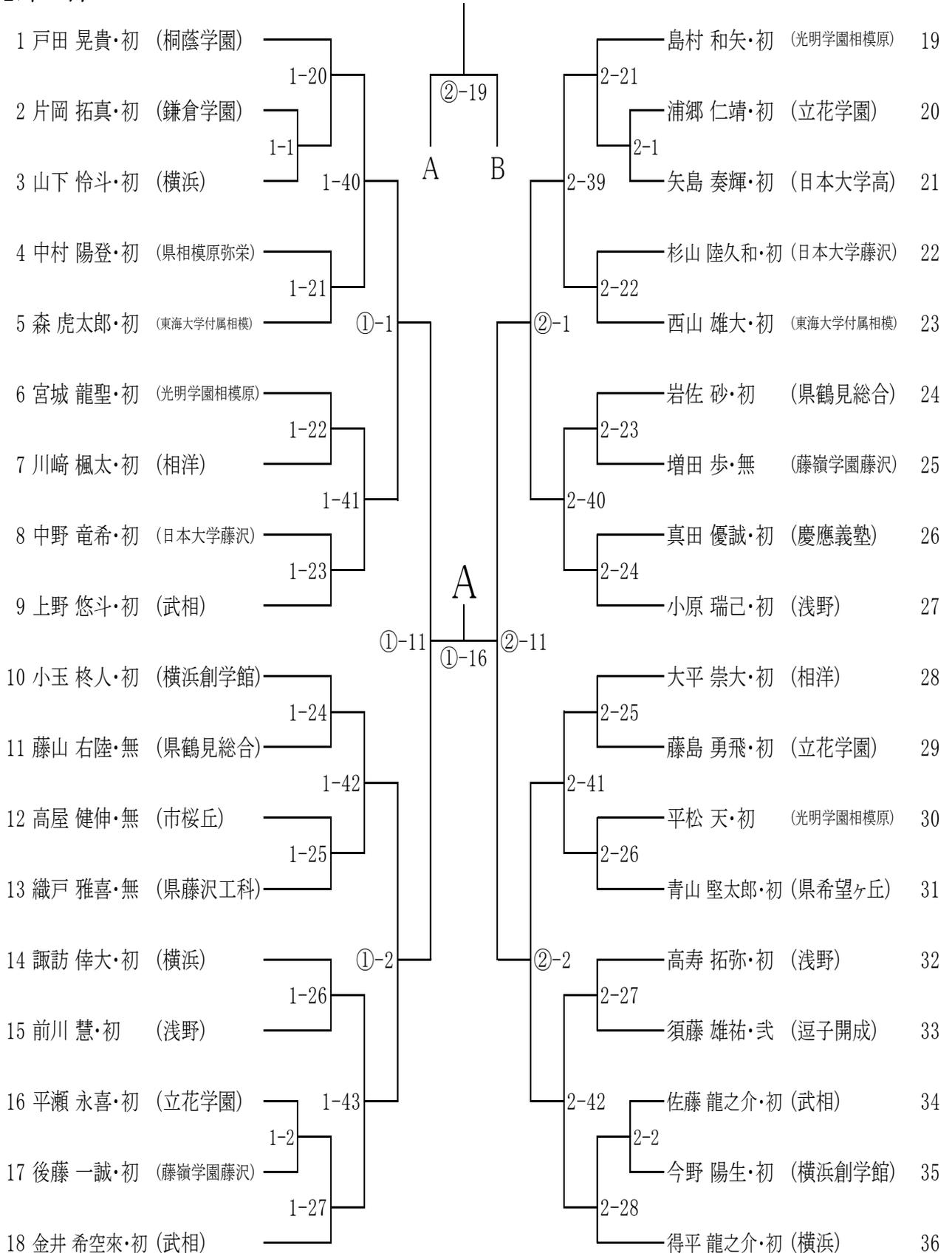
(2) 少年女子の部については、令和4年度全国総体県予選並びに令和4年度関東県予選及び令和3年度全国選手権県予選の試合結果を選考対象とし、5月25日(水)の常任委員会において推薦選手を決定する。ただし、最終選考については神奈川県柔道連盟が行う。

(3) 計量規定、参加申込、参加料振込等については大会参加共通事項を参照のこと。

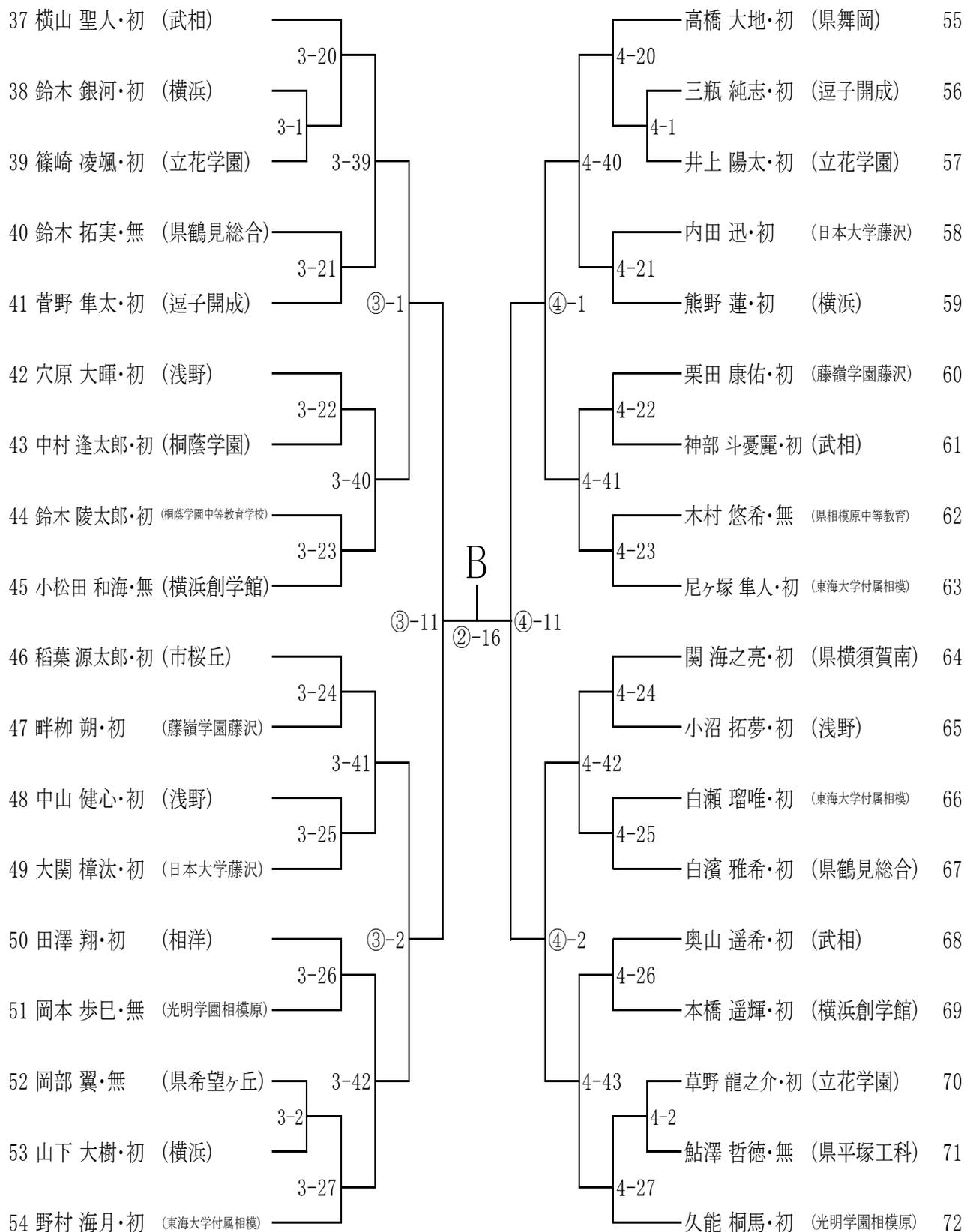
(4) 出場選手・引率者・大会役員は高体連で定められている「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン」を徹底・遵守する。

(5) 来場の際は公共の交通機関を利用する。県立武道館には、一般利用者向け駐車場がないため、自家用車での来館はしない。

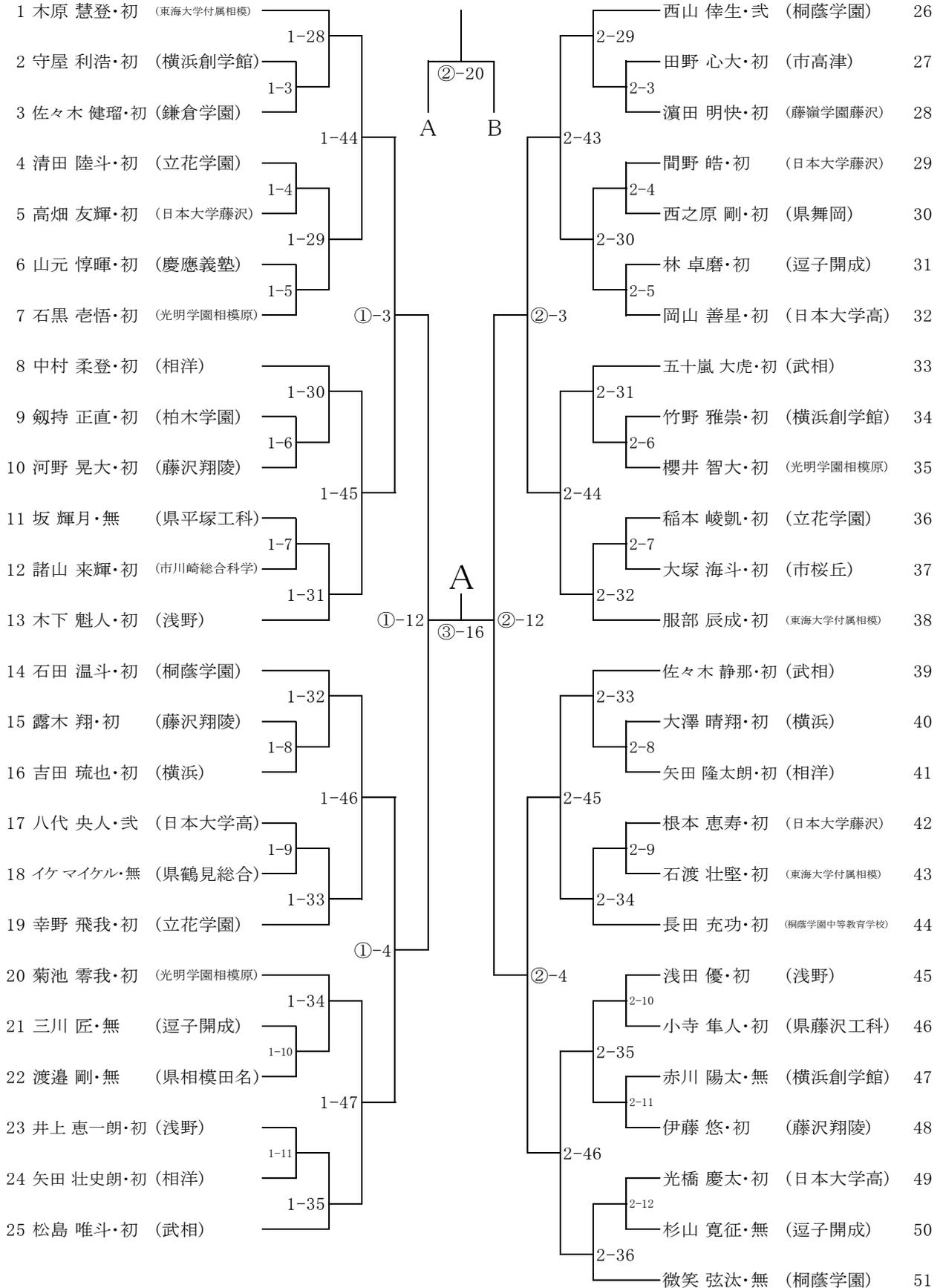
先鋒の部 A



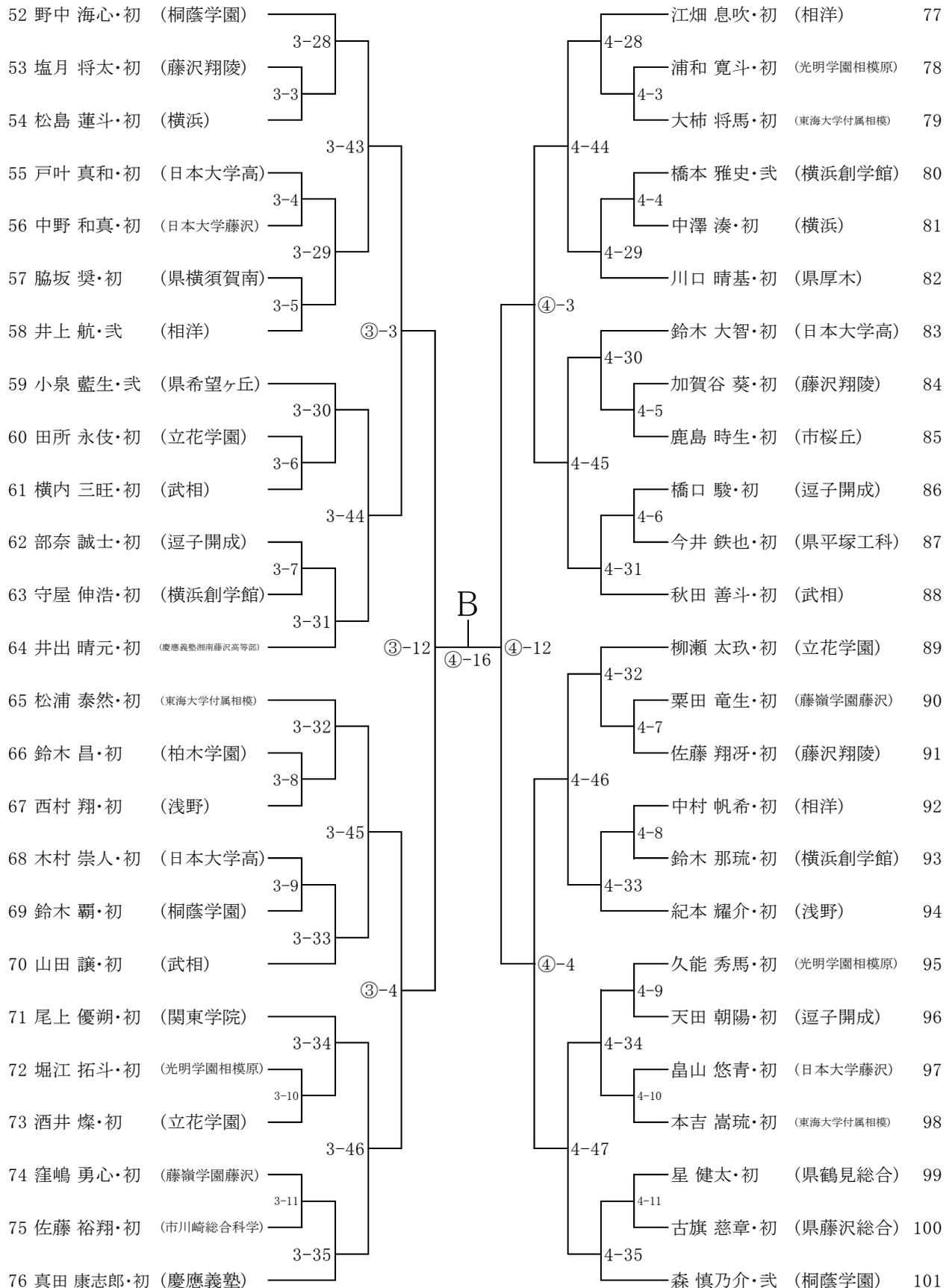
先鋒の部 B



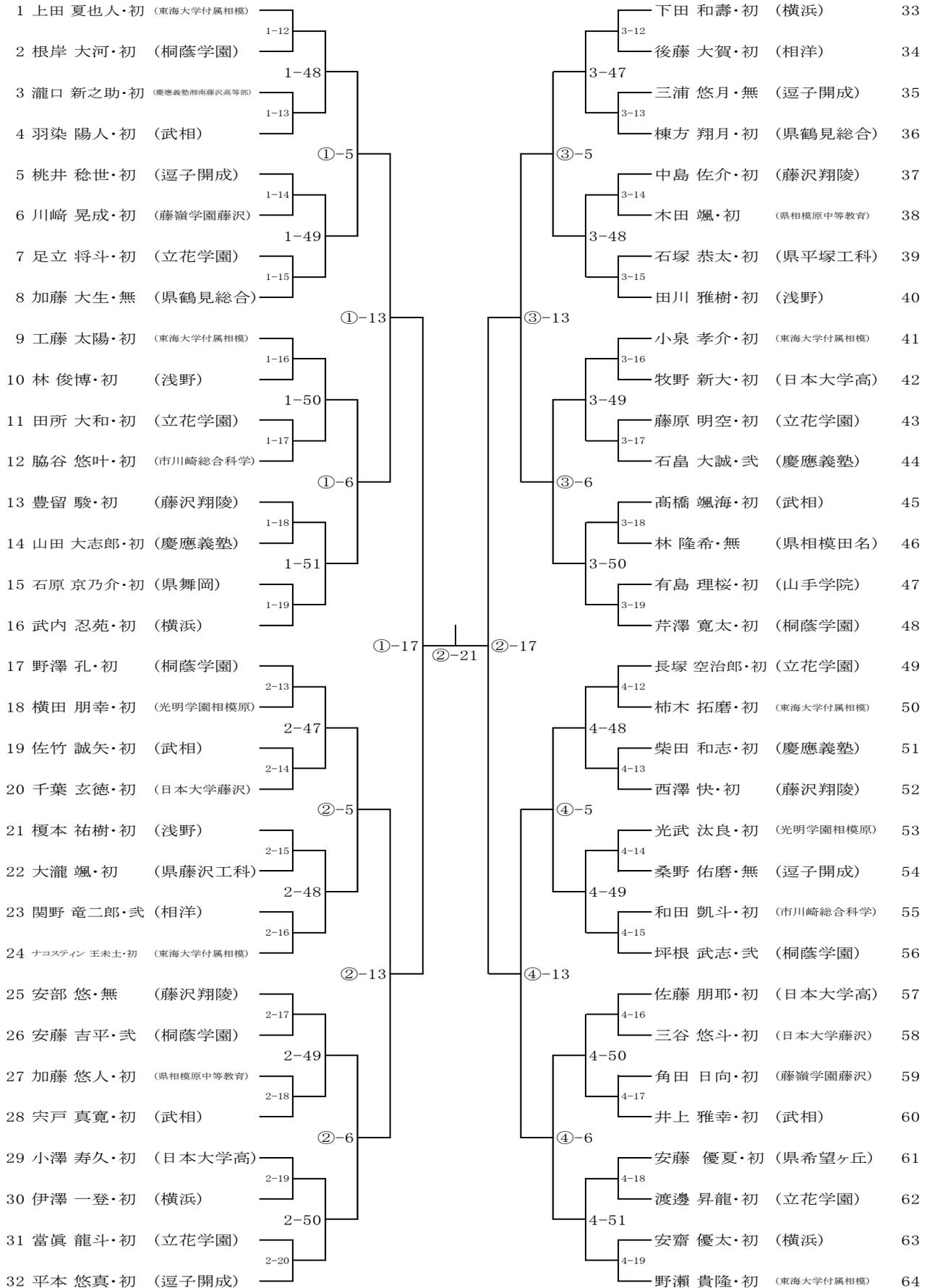
次鋒の部 A



次鋒の部 B

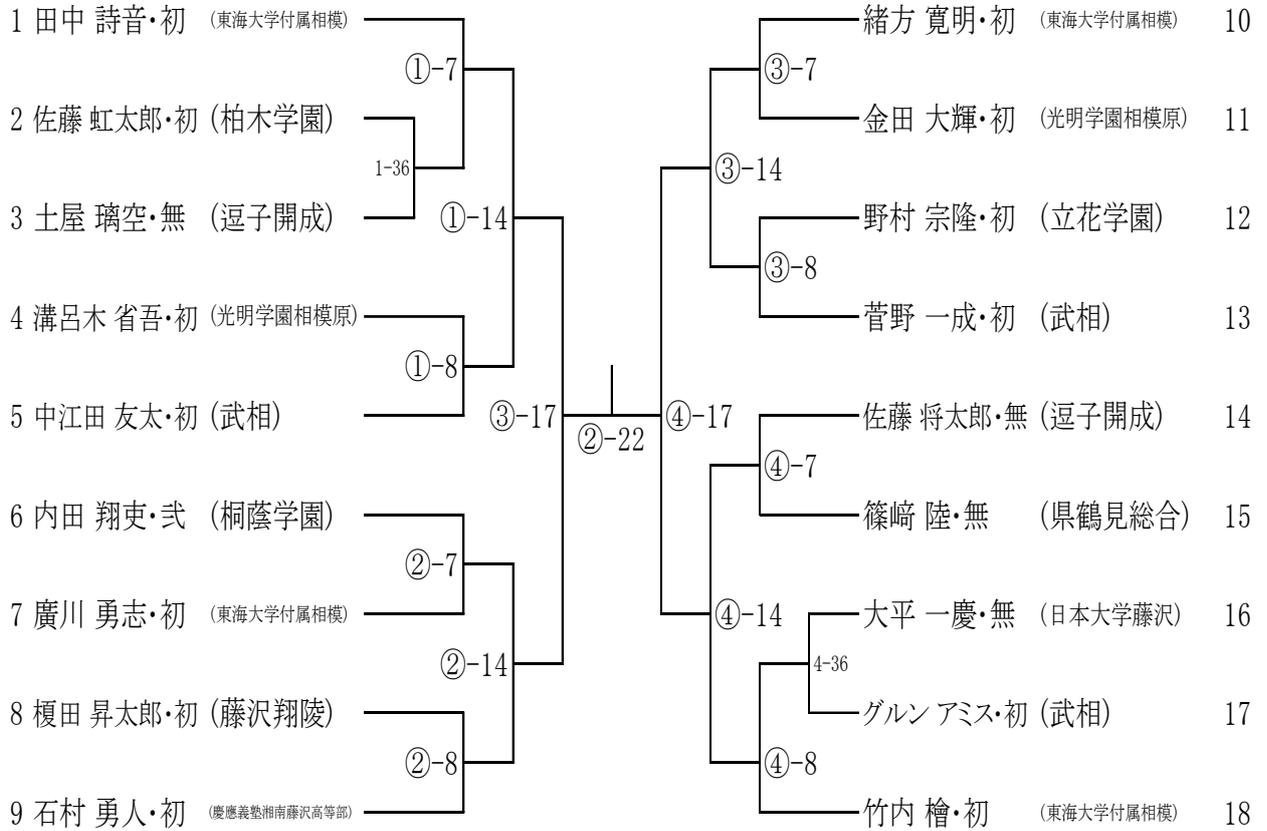


中堅の部

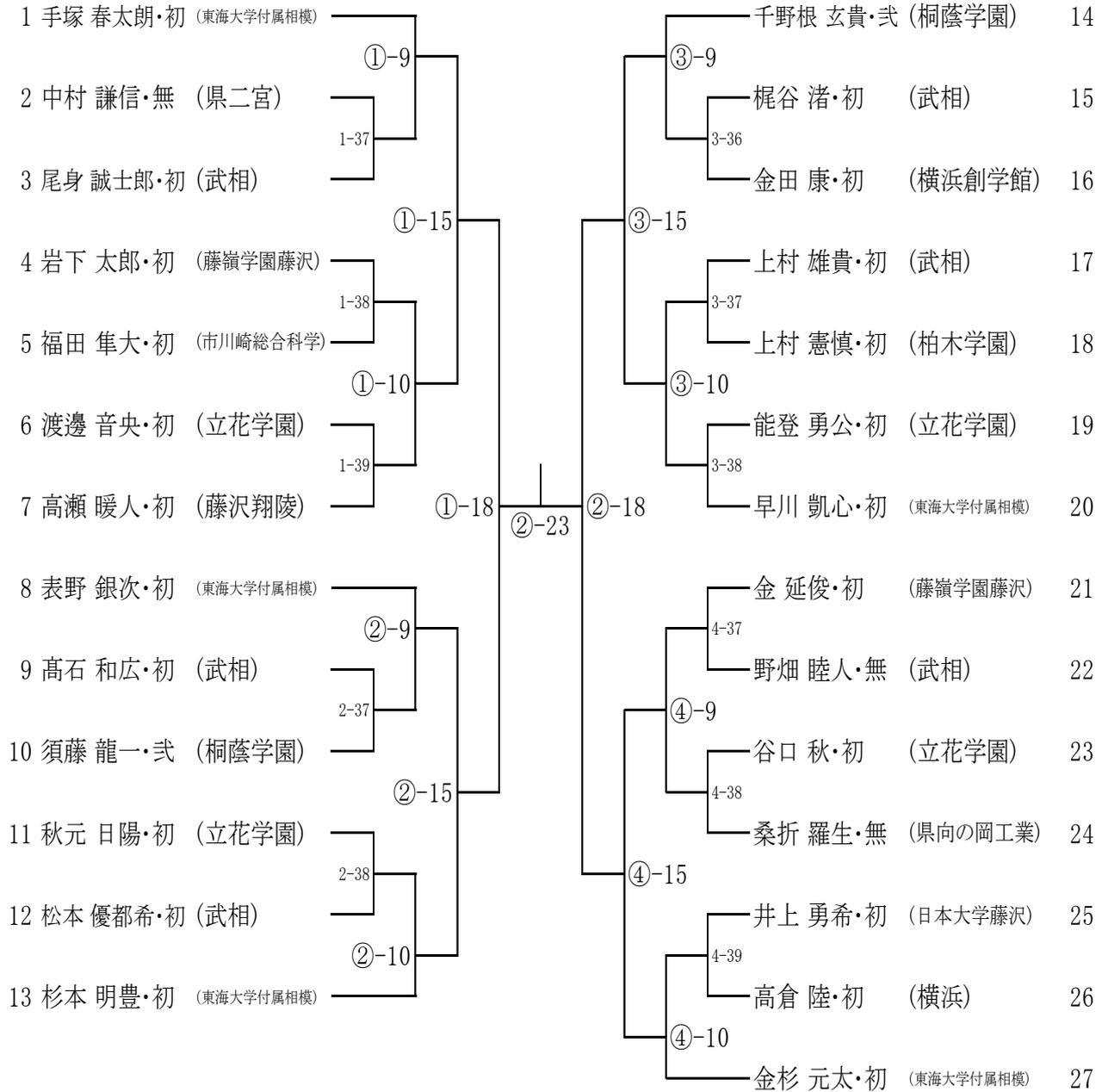


国民体育大会 少年男子の部 県予選会
 令和4年6月25日(土)
 神奈川県立武道館

副将の部



大将の部



令和4年度 国体 試合進行表

試合同時開始

時間	第1試合場 1-①-	第2試合場 2-②-	第3試合場 3-③-	第4試合場 4-④-
	先鋒 1回戦 1 ~ 2			
	次鋒 1回戦 3 ~ 11	次鋒 1回戦 3 ~ 12	次鋒 1回戦 3 ~ 11	次鋒 1回戦 3 ~ 11
	中堅 1回戦 12 ~ 19	中堅 1回戦 13 ~ 20	中堅 1回戦 12 ~ 19	中堅 1回戦 12 ~ 19
	先鋒 2回戦 20 ~ 27	先鋒 2回戦 21 ~ 28	先鋒 2回戦 20 ~ 27	先鋒 2回戦 20 ~ 27
	次鋒 2回戦 28 ~ 35	次鋒 2回戦 29 ~ 36	次鋒 2回戦 28 ~ 35	次鋒 2回戦 28 ~ 35
	副将 ベスト16決 36	大将 ベスト16決 37 ~ 38	大将 ベスト16決 36 ~ 38	副将 ベスト16決 36
	大将 ベスト16決 37 ~ 39	先鋒 ベスト16決 39 ~ 42	先鋒 ベスト16決 39 ~ 42	大将 ベスト16決 37 ~ 39
	先鋒 ベスト16決 40 ~ 43	次鋒 ベスト16決 43 ~ 46	次鋒 ベスト16決 43 ~ 46	先鋒 ベスト16決 40 ~ 43
	次鋒 ベスト16決 44 ~ 47	中堅 ベスト16決 47 ~ 50	中堅 ベスト16決 47 ~ 50	次鋒 ベスト16決 44 ~ 47
	中堅 ベスト16決 48 ~ 51			中堅 ベスト16決 48 ~ 51
	再ウォーミングアップ 10分間			
	先鋒 ベスト8決 1 ~ 2			
	次鋒 ベスト8決 3 ~ 4			
	中堅 ベスト8決 5 ~ 6			
	副将 ベスト8決 7 ~ 8			
	大将 ベスト8決 9 ~ 10			
	先鋒 ベスト4決 11 ~ 11			
	次鋒 ベスト4決 12 ~ 12			
	中堅 ベスト4決 13 ~ 13			
	副将 ベスト4決 14 ~ 14			
	大将 ベスト4決 15 ~ 15			
	先鋒 準決勝 16 ~ 16	先鋒 準決勝 16 ~ 16	次鋒 準決勝 16 ~ 16	次鋒 準決勝 16 ~ 16
	中堅 準決勝 17 ~ 17	中堅 準決勝 17 ~ 17	副将 準決勝 17 ~ 17	副将 準決勝 17 ~ 17
	大将 準決勝 18 ~ 18	大将 準決勝 18 ~ 18		
		先鋒 決勝 19 ~ 19		
		次鋒 決勝 20 ~ 20		
		中堅 決勝 21 ~ 21		
		副将 決勝 22 ~ 22		
		大将 決勝 23 ~ 23		

令和4年度 国民体育大会 柔道競技 少年男子の部 神奈川県 予選会

Instagramライブ配信について

神奈川県高体連柔道専門部では試験的にInstagramのアプリを利用したライブ配信を以下のとおり行います。初めての試みになります。通信障害等で配信できない場合も想定されますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

この件の問い合わせを会場のシンコースポーツ神奈川県立武道館にしないでください。

日 時 6月25日(土) 開始 10:10 ごろ

大会名 令和4年度 第77回 国民体育大会 柔道競技 少年男子の部 神奈川県 予選会

開催場所 シンコースポーツ神奈川県立武道館

視聴について

ご視聴の際はInstagramのアプリをダウンロード・インストールし以下のアカウントをフォローしてライブ配信をご覧ください。また全試合アーカイブ配信(見逃し配信)はありません。ライブ配信のみになります。Instagramのライブ配信は最長1時間となっています。1時間ごとの切り替えの時間もありますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

第1 試合場 kanagawa.koutairen.judo.mat1 神奈川県高体連柔道専門部 1

第2 試合場 kanagawa.koutairen.judo.mat2 神奈川県高体連柔道専門部 2

第3 試合場 kanagawa.koutairen.judo.mat3 神奈川県高体連柔道専門部 3

第4 試合場 kanagawa.koutairen.judo.mat4 神奈川県高体連柔道専門部 4

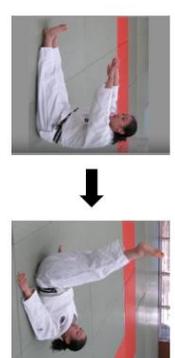
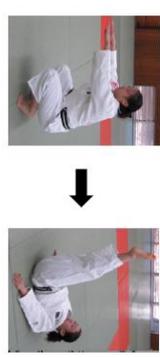
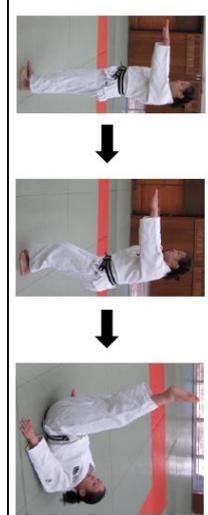
※第2 会場のアカウントのみ新しいアカウントになっています。再登録をお願いします。

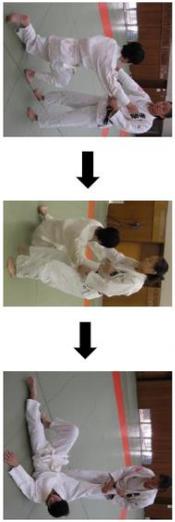
その他の会場のユーザーネームも変更してありますが以前使用していたアカウントのユーザーネームのみ変わっています。

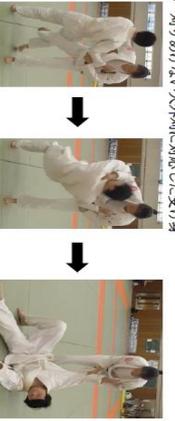
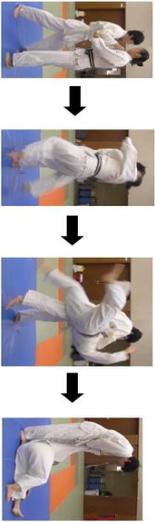
(例 kanagawa.koutairen.judo1→kanagawa.koutairen.judo.mat1)



大外刈段階的指導手順例

<p>第一段階 単独で受け身ができる</p>	<p>○練習の内容</p> <p>1.① 長座の姿勢からの受け身</p>  <p>1.② 中腰の姿勢からの受け身</p>  <p>1.③ 立位からの受け身</p> 
<p>○練習時間の目安 (60～90分で週3～4回程度の場合)</p> <p>・2～3週間程度</p>	<p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顎を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受け身ができているか

<p>第二段階 相手の動作に対応した受け身ができる</p>	<p>○練習の内容</p> <p>2① 片膝をついた姿勢から大外刈の崩し、体さばきに対応した受け身</p>  <p>2② 片膝をついた姿勢から大外掛（通称）に対応した受け身 （刈り足を畳について、相手を引き上げて安全を確保する）</p>  <p>2③ 立位から大外掛（通称）に対応した受け身 （刈り足を畳について、相手を引き上げて安全を確保する）</p>  <p>○練習時間の目安（60～90分で週3～4回程度の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1段階修了後、1～2ヶ月間程度 <p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受け身ができているか ・取りは引き手を離さず保持しているか
-----------------------------------	--

<p>第三段階 初歩的な大外刈に対応した受け身ができる</p>	<p>○練習の内容</p> <p>3① 刈りあげない大外刈に対応した受け身</p>  <p>3② その場での大外刈に対応した受け身</p>  <p>○練習時間の目安（60～90分で週3～4回程度の場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2段階修了後、3ヶ月間程度 <p>○見極めのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頭を引き、頭が振れない受け身ができているか ・体幹が落ちる寸前に、腕全体で畳を打つ受け身ができているか ・取りは引き手を離さず保持しているか <p>注-1：第三段階までの技能習得レベルを個人に評価し、安全を見極めながら（投げ込み、乱取り）進むこと。</p> <p>注-2：他校との合同練習や公式試合への参加の可否についても同様に判断すること。</p> <p>注-3：大外刈、小外刈など後ろに倒される技についても同様に確認すること。</p> <p>注-4：基礎体力、特に首周辺の筋力強化のトレーニングも並行して行うこと。</p> <p>注-5：練習で組み合うときには、体力差、体格差、技能差、運動経験の違いを考慮に入れること。</p>
-------------------------------------	---

柔道練習ステップ

	ステップ1(基本動作・打ち込みレベル)	ステップ2(投げ込みレベル)	ステップ3(乱取りレベル)
基本的な事項	<ul style="list-style-type: none"> 決められた安全のための約束事やマナーが守れる。(真剣に取り組む。礼法やあいさつ・返事ができる。) みだしなみを整えることができる。(柔道衣を正しく着られる、つめを切る、髪を束ねる、固いものを身に付けない等) ブリッジ、腕立て伏せ、腹筋、背筋等の体力を高める運動ができる。 前転後転などの回転運動がスムーズにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を受けるだけでなく、自ら進んで稽古ができる。 仲間と協調して、自他を尊重できる。(話し合い、助け合い、高め合い) 投げ込みに耐えうる筋力、持久力がある。 「一本」「技有り」等の違いが分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手への思いやりの行動、言動ができる。(乱暴な言動、しぐさ等がない。) 周囲の安全に配慮した行動ができる。 審判規定が分かり、禁止事項が守れる。 3～5試合を行える体力がある。
受け身	<ul style="list-style-type: none"> 単独で受け身ができる。(後ろ受け身、横受け身、前受け身、前回り受け身) 相手に圧力(押される等)をかけられて単独の受け身ができる。 膝をついた姿勢や立ち姿勢からゆっくり投げられて受け身ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害物を超える受け身ができる。 その場、移動、連絡技で投げられて受け身ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 返し技や捨て身技等で投げられても受け身ができる。 投げられた時に、体をひねったり無理な体勢(ブリッジ等)を取らず受け身ができる。
投げ技	<ul style="list-style-type: none"> 投げ技の基本動作ができる。(基本的な組み方、進退動作、崩し、体さばき等) 2種類以上の投げ技で打ち込みができる。(膝車、支釣込足、出足払、体落、大腰等) 	<ul style="list-style-type: none"> その場で投げることができる。(捨て身技を除く)(自分の体勢を崩さない、引き手を離さず、相手を保護できる。) (同体で倒れない、巻き込まない、頭を突っ込まない等) 移動しながら得意技で投げるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 乱取りで自分の体勢を崩さずに投げるができる。 乱取りで引き手を離さず、相手を保護できる。 相手の技能程度に応じた乱取りができる。(三様の乱取り)※
固め技	<ul style="list-style-type: none"> 固め技の基本動作、補助運動ができる。(体を開く、体を横にかわず、腋をしめる、脚を回す、脚を伸ばす等の動作、基本的な入り方と返し方) 2種類以上の抑え込み技ができる。(袈裟固、横四方固、上四方固等) 	<ul style="list-style-type: none"> 抑え込み技とその逃げ方ができる。 膝をついた姿勢、仰向けの姿勢から抑え込み技の攻防ができる。(頸の関節及び脊椎を痛めずに攻防ができる) 	<ul style="list-style-type: none"> 絞め技の攻防ができる。(中学生以上) 関節技の攻防ができる。(高校生以上) 乱取りで攻防ができる。 立ち姿勢から寝技への移行ができる。

※三様の乱取り:技能程度の高い相手、技能程度が同等の相手、技能程度の低い相手と、それぞれ相手の技能程度に応じて行う乱取り。

平成27年3月31日 作成

保険の加入と申請方法について

※この大会は参加選手全員が傷害保険に加入しています。

大会において怪我をした場合は

下記の「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」へ

ご連絡の上、保険金申請手続きを各自で行ってください。

補償項目	保険金額・日額
死亡・後遺障害	1,000 千円
入院保険金日額	1,500 円
通院保険金日額	1,000 円

連絡先

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

新光 FP サービス

横浜市鶴見区鶴見中央 3-2-5 田口ビルディング 3 階

「神奈川県高体連柔道専門部」と教えてください。

電話 045-503-5002

令和4年度 昇段推薦受験試合結果確認書

学 校 名	氏 名	段 位
(ふりがな)	(ふりがな)	段

令和4年度 第77回 国民体育大会 柔道競技 少年男子の部 神奈川県 予選会

対戦相手名 (対戦相手の段位)	所 属(学校名)	勝 敗	得 点
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5
(段)		勝・負・引分	0・0.5・1・1.5

神奈川県柔道連盟会長 殿

上記の者の試合結果は、昇段推薦受験試合成績対象であることを証明します。

顧問名

Ⓜ

武道館避難経路

◎緊急放送や職員・大会主催者の指示に従って、落ち着いて避難してください

<弓道場>

- 射場・師範室からは、屋外巻わら場へ出る
- 観覧席・更衣室からは、玄関方面へ
- 渡り廊下の扉からは備え付けの鍵で開錠し屋外へ出る

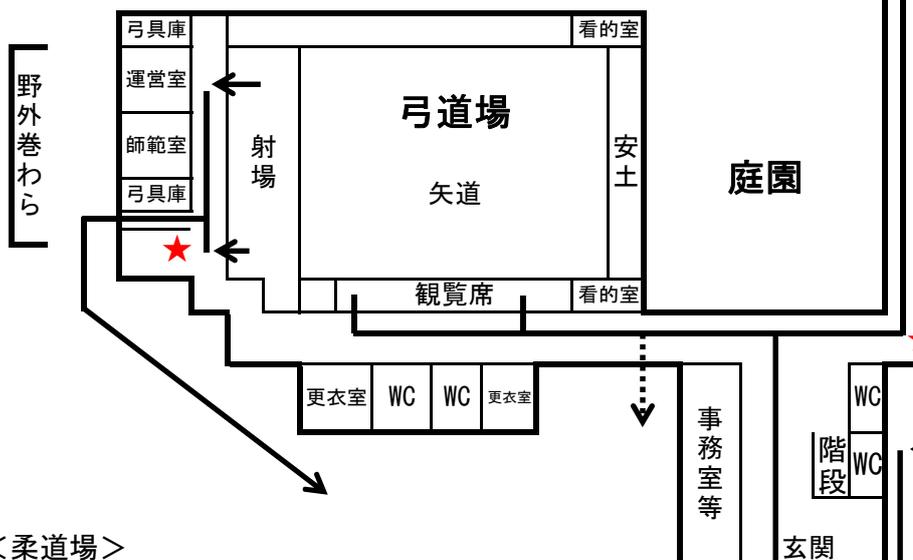
<小道場・師範室・更衣室>

- 廊下に出て玄関方面へ
- 廊下に出て階段を下り、職員通用口または駐車場から屋外へ
- ※職員通用口は館内から開錠できます（目的外利用禁止）
- 駐車場シャッターが動けば駐車場からも屋外へ

<地下>小道場の真下



<1階> ★: AED (2箇所設置)



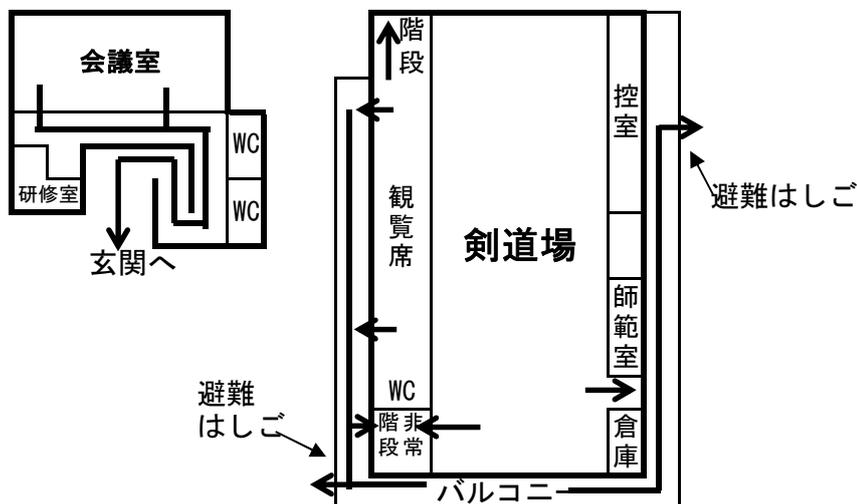
<柔道場>

- 観覧席から屋外へ出る
- 観覧席から階段を上り玄関方面へ
- 試合場から給湯室、非常口、観覧席から屋外へ

<剣道場>

- 観覧席から階段を下り玄関方面へ
- 観覧席からバルコニーへ出て、避難はしご又は非常階段を下りる
- 試合場から観覧席、給湯室からバルコニーへ出る
- 試合場から非常階段・通常階段を下りて柔道場非常口・玄関方面へ

<2階> ※会議室は玄関広間2階、剣道場は柔道場の上階



<会議室>

- 階段を下りて玄関へ

<全体>

- ◎各階段の幅が狭いので、慌てずに避難してください。
- ◎巨大地震の際は瓦の落下にご注意ください。
- ◎剣道場～柔道場の非常階段には荷物を置かないでください。
- ◎各道場観覧席後方の通路は荷物を置かず、十分な広さを確保してください。
- ◎出火の際は近くの火災報知器のボタンを強く押してください。
- ◎裸足の方がほとんどですので、破片等に注意してください。

※剣道場非常階段は柔道場非常口に通じる

大会に関する申し合わせ事項

神奈川県高体連柔道専門部

1. 大会運営について

- (1) 各学校引率責任者は「試合上の注意・運営上の注意」前までに本部受付にて受付を行う。
 - (2) 大会中の選手の行動については柔道選手としてふさわしいものであるよう指導する。
 - (3) 貴重品は各学校で責任を持って保管する。
 - (4) 更衣は決められた場所で行ない、廊下等では行わない。決められた場所以外に不用意に立ち入らない。また、更衣場には敷物等を敷かない。
 - (5) ビン類（ガラス容器）の持ち込みは固く禁止する。
 - (6) 各校で出したゴミは必ず持ち帰る。特に、弁当の食べ終わった容器をそのままにしない。
 - (7) 県立武道館避難経路を必ず確認する。
 - (8) 競技をしている時以外は密を避けるように努める。
 - (9) 試合実施上の注意
 - ① 試合開始前
 - ア. マスクをビニール袋に入れ、各自で管理する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ② 試合直後
 - ア. マスクを着用する。
 - イ. 消毒液にて手指消毒を行う。
 - ウ. 各自、クールダウンを行う。
 - a. 時間：5分程度
 - b. 状態：呼吸が整うまで
- ※監督指導はクールダウンが終了後に行う。
- エ. 試合中について
 - a. 試合を行っている選手以外は大きな声を出さない。

4試合会場図(正式試合会場)

